

製品名: ルミカンウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe87328

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.51mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:38 kDa; Observed MW:60 kDa

抗原情報

遺伝子名	Lumican
別名	LDC; SLRR2D
遺伝子ID	4060
SwissProt ID	P51884
免疫原	ヒトルミカンの合成ペプチド

背景

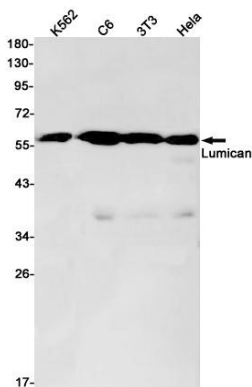
この遺伝子は、デコリン、ビグリカン、フィブロモジュリン、ケラトカン、エピフィカン、オステオグリシンを含む小型ロイシン

リッチプロテオグリカン (SLRP) ファミリーのメンバーをコードしています。これらの二機能性分子において、タンパク質部分はコラーゲン線維に結合し、高電荷の親水性グリコサミノグリカンは線維間隔を制御します。ルミカンは角膜の主要なケラタン硫酸プロテオグリカンですが、全身の間質性コラーゲンマトリックスにも分布しています。ルミカンは、コラーゲン線維の組織化と円周方向の成長、角膜の透明性、上皮細胞の移動と組織修復を制御していると考えられます。[RefSeq 提供、2008年7月]

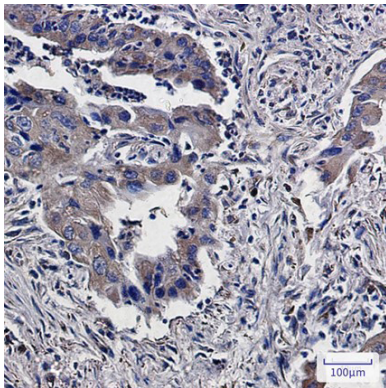
研究分野

-

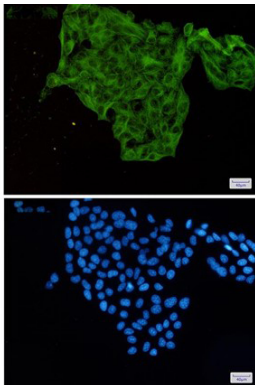
画像データ



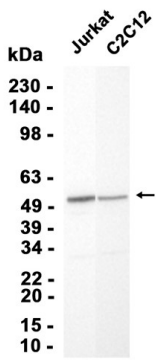
ルミカン抗体 (1:1000 希釈) を使用した K562、C6、3T3、Hela 細胞溶解物中のルミカンのウエスタン ブロット検出。



AMRe87328 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。



AMRe87328 抗体 (緑) と DAPI (青) を使用した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。



AMRe87328 を 1:1000 で使用して、Jurkat、C2C12 細胞抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。